

砺波地方介護保険組合議会令和6年8月定例会会議録

- 1 開会の日時 令和6年8月19日 午後1時30分 開会
- 2 閉会の日時 令和6年8月19日 午後1時52分 閉会
- 3 開議及び閉議の日時 令和6年8月19日 午後1時33分 開議
令和6年8月19日 午後1時50分 閉議

4 出席議員の氏名

1番	齋藤 幸江	2番	竹松 豊一
3番	川原 忠史	4番	山本 篤史
5番	竹田 秀人	6番	山室 秀隆
7番	有若 隆	8番	山田 順子
9番	蓮沼 晃一	10番	藤本 雅明
11番	中田 正樹	12番	大楠 匡子

以上12名

5 欠席議員の氏名

なし

6 説明のため議場に出席した者の職・氏名

理事長	夏野 修	副理事長	桜井 森夫
理事	田中 幹夫		
代表監査委員	山田 博章	会計管理者	三井 麻美
事務局長	藤森 俊行	業務課長	長太 一進
兼総務課長			
楽寿荘施設長	吉澤 昇		

7 職務のため議場に出席した事務局等職員

総務課主幹	中村 勝	総務課主査	高桑 万紀子
-------	------	-------	--------

8 議事日程

第1	会議録署名議員の指名について
第2	会期の決定について
第3	議案第10号 令和6年度砺波地方介護保険組合介護保険事業特別会計補正予算（第1号）から報告第2号専決処分の承認についてまで
第4	閉会中の継続審査について

9 本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

10 会議の要旨

[午後 1 時30分 開会]

○ 議長（蓮沼 晃一 君）

本日、令和 6 年 8 月 砺波地方介護保険組合議会定例会を開催いたしましたところ、各位には何かとご多用のところ、ご出席を賜り深く感謝申し上げます。

議会運営委員会が 8 月 6 日に開催され、本日の日程等について協議されております。協議結果について、議会運営委員会より報告があります。

議会運営委員会 委員長 中田 正樹 君

【中田 正樹 議会運営委員会委員長 登壇】

○ 議会運営委員会委員長（中田 正樹 君）

本定例会の議事運営を円滑に進めるため、去る 8 月 6 日に議会運営委員会を開催し、本日の議事日程等について協議したところであります。その結果の概要をご報告申し上げます。

本定例会は、このあと本会議を開会し、日程第 1 として「会議録署名議員の指名を」を行い、日程第 2 として、本定例会の「会期」を、本日 1 日と決定いたします。

次に、日程第 3 として、理事長から「議案第 10 号 令和 6 年度砺波地方介護保険組合介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）、から報告第 2 号専決処分の承認を求めることについて」までの議案 1 件、認定 3 件、報告 1 件について、提案理由の説明があります。

次に、代表監査委員から決算審査結果の報告があります。

その後、一般質問並びに上程議案に対する質疑・討論を行い、終了後、議案第 10 号、認定第 1 号から認定第 3 号及び報告第 2 号までの案件について採決いたします。

最後に日程第 4 として、「閉会中の継続審査について」の協議を行い、本日の全日程を終了し、閉会することになっております。

以上、議会運営委員会の報告といたします。

【中田 正樹 議会運営委員会委員長 降壇】

○ 議長（蓮沼 晃一 君）

ただ今の報告の件につきまして、質疑はございませんか。

（「質疑なし」と発言する者あり）

質疑が無いようですので、報告の件について終了いたします。

[午後 1 時33分 開議]

○ 議長（蓮沼 晃一 君）

ただいまの出席議員は、12 名であります。

定足数に達しておりますので、これより令和 6 年 8 月 砺波地方介護保険組合議会定例会を開会し、ただちに本日の会議を開きます。

地方自治法第 121 条の規定に基づき、夏野理事長ほか関係の皆様出席を求めてあります。

本日の日程に入る前に、諸般の報告をいたします。

監査委員から、地方自治法第235条の2第1項の規定により実施した例月出納検査の報告を受けております。

なお、その報告書の写しをお手元に配布しておりますので、ご確認をお願いいたします。これで、諸般の報告を終わります。

それでは、本日の日程に入ります。

日程第1、「会議録署名議員の指名について」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第105条の規定により、議長において指名いたします。

12番 大楠 匡子 君

1番 齋藤 幸江 君

以上、2名を指名いたします。

次に、日程第2「会期の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本8月定例会の会期は、本日1日といたします。

これに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と発言する者あり)

ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日と決定いたしました。

次に、日程第3「議案第10号 令和6年度砺波地方介護保険組合介護保険事業特別会計補正予算(第1号)から報告第2号専決処分の承認についてまで」を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

理事長 夏野 修 君

【夏野 修 理事長 登壇】

○ 理事長(夏野 修 君)

本日、令和6年8月砺波地方介護保険組合議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、ご出席をいただき厚く感謝申し上げます。

さて、本年度は、第9期介護保険事業計画の初年度に当たり、基本テーマ「高齢者が住み慣れた地域で、その一員として尊重され 生きがいを持って暮らし続けられるまちづくり」に基づき、「介護予防・健康づくりと社会参加の促進」、「自立支援・介護予防・重度化防止の取組」、「地域包括ケア体制の強化」を図るとともに、介護給付の適正化を講じながら、持続可能な介護保険事業の安定運営に努めているところであります。

また、新型コロナウイルス感染症につきましては、昨年5月の5類感染症への移行後、収束への動きが見られていましたが、感染者数が再び増加し、7月下旬には「第11波」に入ったと見られております。今後とも、介護サービス事業者への指導・監督を始め、介護認定調査や認定審査会運営において感染症の拡大防止に鋭意努めてまいりますので、議員各位を始め、住民の皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

次に、令和5年度の各会計の決算概要と事業の運営状況等についてご報告いたします。

令和5年度の決算につきましては、一般会計が2,514万5千円、介護保険事業特別会計が5億3,434万6千円、養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計が554万円の黒字決算となったと

ころであります。

まず、介護保険事業につきましては、本年3月末現在で要介護認定者は8,090人となり、管内の65歳以上人口4万3,471人に対し、認定率は18.6%と対前年度比0.1%上昇しております。

また、介護サービス受給者は月平均6,681人で、介護保険給付費の年間総額は、139億8,755万円となり、対前年度比0.8%の減となっております。介護老人福祉施設を始めとした、比較的単価の高い施設サービスの利用が減少したためと考えられます。

なお、保険料の収入済額は、33億5,285万1千円となり、第1号被保険者数の減により、対前年度比0.3%の減となりました。

また、収納率は99.2%となっており、引き続き、構成市と連携を密にし、収納率の向上に努めてまいります。

次に、養護老人ホーム楽寿荘事業につきましては、年間措置定員600名に対し措置人数は557名で、前年度に対し38名の増となったことから、負担金収入は対前年度比6.4%の増となりました。

今後とも、介護保険事業及び楽寿荘事業におきましては、健全な財政運営に努めるとともに、より一層の効率的な事務事業の推進に努めてまいりますので、議員各位のご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

それではこれより、本日提出いたしました議案等について、ご説明申し上げます。

議案第10号 令和6年度砺波地方介護保険組合介護保険事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、歳入歳出それぞれ5億711万4千円を追加し、歳入歳出予算総額を、161億3,753万2千円とするものであります。

歳出予算補正の主な内容といたしましては、令和5年度介護給付費の負担金等の精算に係る国・県等への返還金などであります。

次に、認定第1号から認定第3号までにつきましては、令和5年度砺波地方介護保険組合一般会計ほか2つの特別会計の歳入歳出決算について、監査委員の意見を付して議会の認定をお願いするものであります。

また、報告第2号 専決処分の承認につきましては、組合指定の地域密着型サービス事業者及び介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例等の一部改正と楽寿荘特別会計補正予算の専決について、報告するものであります。

以上をもちまして、組合事業の状況と本日提案いたしました議案等の説明といたします。何とぞ、ご審議の上、可決、認定、承認をいただきますようお願い申し上げます。

【夏野 修 理事長 降壇】

次に、監査委員から令和5年度砺波地方介護保険組合一般会計、介護保険事業特別会計、養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計歳入歳出決算審査の報告があります。

代表監査委員 山田 博章 君

【代表監査委員 山田 博章 登壇】

○ 代表監査委員（山田 博章 君）

決算審査の結果をご報告申し上げます。

令和5年度の砺波地方介護保険組合一般会計、介護保険事業特別会計及び養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計の決算審査について、去る7月17日に砺波市高齢者能力活用センターにおいて実施いたしました。

審査の着眼点及び実施内容につきましては、令和5年度砺波地方介護保険組合一般会計、他2つの特別会計について、砺波地方介護保険組合監査基準に従い、理事長から送付されました各決算書、付属書類に関する調書等が地方自治法等関係法令に準拠して作成されているか、その計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的になされているか等に主眼を置き、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類との照合並びに関係職員の説明を聴取して審査を行ったところであります。

以下、決算審査の状況についてご報告申し上げます。

3会計の決算額の合計は、歳入が163億5,456万7千円、歳出が157億8,953万5千円で、実質収支は5億6,503万2千円の黒字となっております。

各会計の決算の概要につきましては、お手元に配布しております審査意見書のとおりであります。

介護保険制度は令和5年度で24年が経過し、また、令和5年度は第8期介護保険事業計画の最終年度に当たりました。

保険料収入については、第1号被保険者が更に減少したものの、前年度と同様に、保険料の改定や、前期高齢者層における就労機会の拡充に伴う所得の伸び等により、保険料収入は大きく減少せず、前年度対比99.7%、879万1千円の微減となっております。

一方、保険給付費総額は、139億8,755万円であり、要支援・要介護認定者の減少により、前年度対比99.2%、1億1,379万9千円の減となっております。

介護保険事業特別会計の実質収支は、5億3,434万6千円の黒字となり、単年度収支は1億3,158万1千円の赤字となっております。

今後は、高齢化の進展に伴い保険給付費が増加していくことが見込まれます。こうしたことから、第9期介護保険事業計画による安定的で持続可能な介護保険制度の運営が重要であり、構成3市との連携を図りながら制度運営に努めるよう望むものであります。

また、保険料の収納率については、全体の収納率は例年並みとなっておりますが、負担公平の原則からも、「時効」を意識した計画的な臨戸徴収・電話催告の実施、65歳到達時における口座振替による納付の推進など、収納率の向上に一層努めるよう望むものであります。

養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計につきましては、実質収支は554万円の黒字となり、単年度収支は、92万9千円の黒字となりました。

年間措置定員600名に対し措置実員は557名で利用率は92.8%となり、措置費収入は、前年度に対し、700万2千円の増となりました。

また、短期入所については年間267日の利用となり、前年度に対して3日の減となりました。引き続き、構成市との連携を密にし、安定経営に努めるよう望むものであります。

最後に審査の結果といたしまして、審査に付された各決算書並びに付属書類はいずれも関係法令に準拠して作成されており、決算計数は、証拠書類及び諸帳簿と符合し、正確であったことを申し上げ、決算審査のご報告といたします。

【代表監査委員 山田 博章 降壇】

- 議長（蓮沼 晃一 君）
これより、一般質問及び提出案件に対する質疑を行います。
通告がありませんので、質疑を終わります。
- 議長（蓮沼 晃一 君）
これより、討論に入ります。
通告がありませんので、討論を終わります。
これより、日程第3「議案第10号 令和6年度砺波地方介護保険組合介護保険事業特別会計補正予算（第1号）から報告第2号 専決処分の承認についてまで」を一括して採決いたします。
お諮りいたします。
議案第10号、認定第1号から認定第3号、及び報告第2号、までの案件について、原案のとおり可決、認定、承認することに賛成の諸君の起立を求めます。
（起立全員）
起立全員であります。
よって議案第10号、認定第1号から認定第3号、及び報告第2号までについては、原案のとおり可決、認定、承認されました。
- 議長（蓮沼 晃一 君）
次に、日程第4「閉会中の継続審査について」を議題といたします。
議会運営委員会から、会議規則第59条の規定により、閉会中の継続審査の申し出があります。
お諮りいたします。
議会運営委員会からの申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに、ご異議ございませんか。
（「異議なし」と発言する者あり）
ご異議なしと認めます。
よって、議会運営委員会からの申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに決しました。
以上をもちまして、本定例会に付議されました諸案件の審議はすべて議了いたしました。

[午後1時50分 閉議]

- 議長（蓮沼 晃一 君）
ここで、桜井副理事長からご挨拶がございます。
副理事長 桜井 森夫 君

【桜井 森夫 副理事長 登壇】

- 副理事長（桜井 森夫 君）
8月議会定例会の閉会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず、提出いたしました令和6年度補正予算をはじめ、諸案件につきまして、それぞれ可決、認定、承認を賜り、誠にありがとうございました。

本年度は、第9期介護保険事業計画の初年度となります。

高齢者が、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるように、介護サービス基盤の整備を計画的に行うとともに、介護予防や自立支援・重度化防止に取り組むなど、持続可能な介護保険制度の構築を目指し、構成3市が一層連携を深めながら、さらなる介護サービスの充実を進めていかなければならないと考えております。

議員各位には、今後とも一層のご指導を賜りますようお願いいたします。

終わりになりますが、議員各位が健康にご留意され、ますますのご活躍を祈念申し上げます、閉会に当たりましてのご挨拶といたします。

ありがとうございました。

【桜井 森夫 副理事長 降壇】

○ 議長（蓮沼 晃一 君）

これをもちまして、令和6年8月 砺波地方介護保険組合議会 定例会を閉会いたします。

[午後1時52分 閉会]

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

令和6年8月19日

議 長 蓮 沼 晃 一

署名議員 齋 藤 幸 江

署名議員 大 楠 匡 子